

4つの免許・資格

小学校・特別支援学校・幼稚園・保育士
1種免許 1種免許 1種免許 資格
 および**社会福祉主事任用資格の免許・資格を組み合わせ、取得可能**
 1年生から子どもに関わる現場での経験が豊富：市内外の小学校・幼稚園と連携
 少人数の担任制+1年からのゼミ+ピアノの個人レッスン

～自信をもって就職活動にのぞむための取組み～

「夢」を叶える塾(通称：夢かな)

将来になりたい自分(夢)を見つけ、その夢を実現するために必要な学びの習得を目的とした課外授業です。最終的には、4年間の大学生活を送りながら自分の将来の「夢」をしっかりもち、自信をもって就職活動に臨むための取組みです。毎週1回年間30回以上実施します。



夢かな

◇一般試験対策

職種理解、履歴書の書き方、論文の書き方などの講義を受けながら、教育関係だけでなく一般企業就職への活動にも必要な知識と技能を身につけるようにします。

◇専門試験対策

- 「小学校・特別支援学校教員希望学生」対象…教員採用試験合格のために必要な基礎的・基本的な内容を中心に学びます。
- 「幼稚園教員・保育士希望学生」対象…保育現場に強く求められている豊かな表現力育成を目的に、リトミック、紙芝居、わらべうたなどのワークショップを中心に行っています。また、幼稚園・保育士登録試験を受験する学生を対象に、一般教養・専門科目の試験対策を毎週実施しています。そのうち数回「公務員試験セミナー」による「幼保模試」(受験料無料)も行います。

東京アカデミー 教員採用試験対策講座

年間52回の「教員採用試験対策講座(約102時間)」を実施して、教員採用試験に必要な基礎力の養成と知識の定着を促します。本講座は、受験対策総合予備校である東京アカデミーによるもので、土日の休日や夏休み等に本学部キャンパスで行います。受講料は大学の補助があります(テキスト代は自己負担)。「夢をかなえる塾」(教員採用試験対策)に加えて、本講座でも学ぶことで、さらに小学校採用試験に自信をもって臨めるようになります。

学費免除制度・入試日程

保育技術検定特待生制度(子ども教育学科対象)

- 1級(全種目)合格者・・・初年度授業料半額(500,000円)免除
 - 1級(3種目)合格者・・・初年度授業料四分の一(250,000円)免除
- ※他の特待生・免除制度との併用不可。ただし、都城地区入学金額免除制度とは併用可能。
詳細については、お問い合わせ下さい。



入学金	減免額	免除制度	対象
	全額免除	特待生推薦入試	
社会人入試			合格者
都城地区入学金額免除			都城地区高等学校卒業生または卒業見込み者 都市部の住民並びに住民の子
南九州学園入学金全額免除			・本学または南九州短期大学に入学したことがある者 ・2親等以内の親族が、本学または南九州短期大学のいずれかに入学したことがある者 ・入学予定年度に複数の兄弟姉妹が同時に本学または南九州短期大学のいずれかに入学するときは、これらのうち後順位の者
沖縄及び鹿児島県諸島奨学金			沖縄県・鹿児島県諸島出身の合格者
半額免除	特待生推薦入試		特待生に採用されなかった指定校からの合格者
	子ども教育学科推薦入試Ⅰ期・Ⅱ期指定校		指定校からの合格者

授業料	減免額	免除制度	対象
	全額免除	一般入試Ⅰ期待待生	入試成績学部1位の者
		センター試験利用入試期待待生	平均85点以上の者(本学指定科目の平均)
半額免除	一般入試Ⅰ期待待生	入試成績学部2位の者	

宮崎県保育士修学資金貸付

宮崎県では、現在保育士養成施設に通う学生に対し、学費、入学準備金及び就職準備金の貸し付けが行われています。

- ①貸付額：学費 月5万円以内、入学・就職準備金 各20万円以内
- ②返還免除要件：卒業後1年以内に保育士登録を行い、県内の保育所等において5年以上保育士として勤務すること

試験日程	試験区分	出願期間(必着)	試験日	合格発表日	入学者締切日		
					一次	二次	
推薦入試	一般入試	Ⅱ期	12/10(月)～12/21(金)	1/13(日)	1/23(火)	2/20(火)	
		Ⅰ期	1/15(火)～1/30(木)	2/3(日)	2/14(木)	2/28(火)	3/14(火)
		Ⅱ期	2/25(月)～3/7(日)	3/13(火)	3/18(月)	3/22(金)	3/29(金)
センター試験利用入試	センター試験利用入試	Ⅰ期	1/15(火)～2/1(金)	—	2/14(木)	2/28(火)	3/14(火)
		Ⅱ期	2/25(月)～3/11(月)	—	3/18(月)	3/22(金)	3/29(金)
		Ⅲ期	3/12(火)～3/19(火)	3/20(火)	3/26(火)	3/29(金)	—
社会人入試	社会人入試 特別生入試	Ⅰ期	1/15(火)～2/1(金)	—	2/14(木)	2/28(火)	3/14(火)
		Ⅱ期	2/25(月)～3/7(日)	3/13(火)	3/18(月)	3/22(金)	3/29(金)
		Ⅲ期	3/12(火)～3/19(火)	3/20(火)	3/26(火)	3/29(金)	—
AO入試	AO入試	③	12/10(月)～12/21(金)	1/13(日)	1/23(火)	2/6(火)	2/20(火)
		④	1/15(火)～1/30(木)	2/3(日)	2/14(木)	2/28(火)	3/14(火)
		⑤	2/25(月)～3/7(日)	3/13(火)	3/18(月)	3/22(金)	3/29(金)

奨学金制度(貸与)

南九州学園奨学金(貸与生・要返還)

- ①貸与金額 月額5万円or3万円(無利子)
- ②返還方法 卒業後貸与期間の2倍の期間内の返還

オープンキャンパス

平成31年 3月24日(日)

- ・学食体験 9:30～13:30
- ・模擬授業(受付9:00～)
- ・施設見学

など盛りだくさん♪
ぜひ来て下さい!

入試に関する問い合わせ・出願受付

南九州大学 学生支援課(宮崎キャンパス)
〒880-0032 宮崎県宮崎市露森5丁目1-2
TEL: 0985-83-3585
土日祝及び本学所定の休日を除く
8:30～17:00

※土日祝日及び本学所定の休日の出願に関しては、郵送のみの受付となります。

宮崎県都城市立野町3764番地1 南九州大学 都城キャンパス
 【お問合せ】フリーダイヤル：0120-3739-20
 TEL：0986-21-2111 E-mail：child@nankyudai.ac.jp

子ども教育学科のブログ
<http://nankyudai.exblog.jp/>
 ここから簡単アクセス→



南九州大学人間発達学部

2018年 冬号 winter

子ども教育学科ニュースレター

平成30年12月発行 第22号

合格速報
4年連続現役合格!!
人間発達学部 子ども教育学科
宮崎県小学校教員採用試験
平成27、28、29年度実施

平成31年度 教員採用試験結果 (平成30年12月現在)

今年度実施公立小学校・特別支援学校教員採用選考試験

※夢をかなえる塾「教員採用試験対策講座」受講者試験結果

現役合格 **13**名
受験者19名中

熊本県(小学校1名)
福岡県(特別支援1名)
宮崎県(小学校・特別支援11名)

1次試験合格率
100%
2次試験合格率
84.6%

うち宮崎県教員採用試験

現役合格 **11**名
受験者13名中

小学校9名
特別支援学校2名

がんばりました!


卒業生サポートも充実!!

今年度宮崎県教員採用試験(二次試験)卒業生17名合格

在学中に合格を果たせなかった卒業生についても、本学教員が試験問題対策や面接指導などを行ってサポートしています。


合格者の声

小学校教諭 渡辺 史弥(都城農業高校出身)




教員採用試験対策として、大学で行われる東京アカデミーや夢かなに積極的に参加しました。一次試験、二次試験共に大学で手厚い指導があり、必死についていくように心掛けながら進めていきました。二次試験対策では先輩方もたくさん来て下さり、的確なアドバイスをもらい、万全な状態で試験に臨むことができました。今後は、感謝の気持ちを忘れずに愛情・情熱を持ち、子どもたちに命の大切さや感謝の心をはぐくんでいけるような教師になりたいです。

海外での日本語教師 開田 健太(熊本県立鹿本高校出身)




卒業後はインドネシアの中学校で日本語教師として働くことになりました。南九州大学で参加した上海師範大学への短期留学をきっかけに海外旅行が趣味になり、色々な国に行っているうちに海外で働きたいと思うようになりました。試験では書類選考と面接があり、海外で生活するための適応力と英語力を測る内容でした。面接は緊張しましたが自分の考えや熱意を伝えることを意識して挑みました。不安もありますが、子ども達に日本のことを好きになってもらえるように頑張りたいと思います。

特別支援学校教諭 久保田 美生(玉名女子高校出身)



3年生の時にに行った特別支援学校の教育実習で、障がいのある人の支援をする仕事に興味を持ち、支援学校の教諭を目指すようになりました。一次試験の対策では東京アカデミーや夢かなでの対策を受け、試験まで一生懸命勉強しました。二次試験では友人と模擬授業や集団討論の練習をしたり、学校でのマツト運動対策に参加したりしました。学校での手厚い指導体制のおかげで合格することができました。これからは、自分自身が子どもの心に寄り添える教師になりたいです。

宮崎市公立保育士 大木 彩香(宮崎北高校出身)



試験は筆記試験と面接がありました。筆記試験は何度も問題集を解きなおし時間内に解き終わるような練習をしました。そのおかげで落ち着いて試験に臨むことができました。面接は先生方や友達に練習をお願いしました。今まで一人でやる気が起きないことが多かったのですが誰かと一緒にすることでモチベーションが上がり、頑張ろうという気持ちが持てました。周りの方々にとっても感謝しています。今後は子どもたちや、保護者に寄り添う保育士になりたいです。



教育実習



【小学校】
3年 内倉 穂乃香
(延岡商業高校出身)

不安と緊張で始まった教育実習でしたが、無事に3週間経てることができました。研究授業では反省する点も多くありましたが、大きな達成感を持って終わることができました。教育実習を通して、教師になりたいという思いが強くなりました。これからは、この経験を生かし、教員採用試験対策に向けて頑張ります。



【特別支援学校】
4年 安藤 勇侍
(福岡舞鶴高校出身)

私は、都城きりしま支援学校の小学部で教育実習をさせていただきました。二週間という限られた時間でしたが、児童とのかかわり方や授業の工夫について先生方が親身に教えてくださり、多くのことを学ばせていただくことができました。さらに、私の授業を参観して下さった先生方から適切なアドバイスをいただき、自分の良いところや改善点を把握することができました。この実習を通して改めて特別支援学校で教師をしたいと感じることができ、大変有意義な実習となりました。



【幼稚園】
3年 長友 寛太
(高鍋高校出身)

幼稚園実習を通して、子どもたちとの関わり、保育者の行動や言葉掛けなど多くのことを学ぶことができました。全日保育の際、自分では子どもたちの1日の流れが頭に入っているつもりでも、思いがけないことが起こりパニックになってしまいました。子どもがどんなことを考え、どんな行動をするのか、もっと予想しておけば良かったと反省しました。保育者は改めてすごいなと感じました。今回の実習でより一層保育者になりたいという気持ちが強くなりました。実習での学びを活かし、今後も努力します。

保育実習



【保育所】
3年 北村 佳衣里 (松陽高校出身)

私は9月に11日間保育実習に行ってきました。あつという間の11日間でしたが、毎日子どもたちから色んなことを吸収することができ、とても充実した保育実習になりました。研究保育や絵本の読み聞かせなど実際に子どもたちの前に立ち注目を保育者に向ける難しさや個々に応じた配慮の仕方を学ぶことができました。実習を通し、教育の重要性を改めて感じたと同時に大変さの中にも楽しさを発見することができました。今回学んだことをこれからの実習や学びに生かしていきたいです。



【施設】
4年 肥田木 伸一 (高城高校出身)

私は、9月に児童養護施設で実習をさせて頂きました。他の児童養護施設と違い、小規模の児童養護施設ということで担当の子どもだけでなく、他の子どもたちに対しても職員同士が情報交換しながら支援していく「チーム支援」を学ぶことが出来ました。また、職員の方々は自身の個性・強みを支援する中で活用していました。私も自身の個性や強みを生かしながら子どもと関わっていけるよう頑張っていきたいです。

介護等体験



【特別支援学校】
2年 戸内 楓華 (宮崎農業高校出身)

私は、宮崎県立みなみのかげ支援学校に2日間行かせて頂きました。主に虹色祭のお手伝いをさせて頂き、担当した中学部の生徒は、一人ひとり特徴が違いますが、休み時間仲良く過ごす姿が印象的でした。虹色祭を単元とした生活単元学習の一部を見ることができ、実際にどのような内容を授業として行っているのか学ぶことが出来ました。この2日間、生徒と関わる中でコミュニケーションの取り方や先生方の生徒に対する声かけなど多くのことを学ばせていただきました。



【社会福祉施設】
2年 前田 早也香 (都城西高等学校出身)

私は、特別養護老人ホームで介護等の体験をさせて頂きました。入浴介助のお手伝いや髪の毛を乾かしたり、食事の時の後片付けをしながら、利用者の方々とコミュニケーションをとったりしました。1日目はどうしてもいざ知らず、話すことができませんでした。しかし、2日目から積極的に自分から話しかけたことで、利用者の方々からも話しかけて頂きコミュニケーションがとれるようになりました。今回の実習では、普段経験しないことを経験し、コミュニケーションを図る大変さと重要性を学ぶことができました。

観察実習



【小学校】
2年 杉田 愛奈
(都城泉ヶ丘高校出身)

3日間という短い時間ではありましたが、先生方の授業や児童の学校生活の様子を観察させていただき、大学の講義の中だけでは気づくことのできない教育現場の現状を感じることができました。特に、教室の中にある多様な児童にどのように対応し、授業や学級経営を行っていくのかという点を間近で観察し学ぶことができたのは私にとってとても貴重な経験になりました。今回の観察実習で学んだことを生かし、3年次の教育実習をより学びの深いものにしたいと思います。



【幼稚園】
2年 梁瀬 愛音
(小林高校出身)

私は3日間の観察実習を通して、主に声掛けの仕方と援助の仕方について学びました。まず、声掛けの仕方では「1つの声掛け1つの行動」が大切だと知りました。1度だけでは指示が通りにくい子どもに対して、声掛けの工夫を行っていました。また、援助の仕方では、発達段階に合わせた援助が大切だということに改めて気付くことができました。子どもができることは見守り、できることを増やしていくことが重要です。そのためには、子どもの発達段階を理解し、一人一人に適した保育ができるようになりたいと思います。



【特別支援学校】
4年 渡邊 郁美
(屋久島高校出身)

私は、宮崎県立都城きりしま支援学校の小学部、中学部、高等部に入らせて頂きました。小学校とは違うことが多く、戸惑うこともありましたが、まっすぐで素直な子どもの姿、子どもと楽しそうに関わる先生の姿を見て、特別支援学校の良さに気づくことができました。また、児童・生徒とのかかわり方や子に適切な指導の大切さなど多くのことを学ぶことができました。この観察実習を通して学んだことを今後に生かしていきたいです。

実習報告

上海師範大学短期留学

私たちは約1ヶ月間上海杉達学院に語学研修に行きました。上海での生活は初めてのことで、それに順応することに精一杯でしたが学院の先生方や学生の皆さんのサポートもあり、有意義な時間を過ごすことができました。日本から出ることで自分の視野も広がり、人としてレベルアップできたと思います。大学でこのような貴重な経験ができたことは、きっと私たちの人生に大きな影響を与えてくれます。この機会を利用して語学研修にチャレンジして下さい。

(2年 辻 靖奈: 聖ドミニコ学園高校出身
濱崎 華妃: 聖ドミニコ学園高校出身
村永 奈央: 鹿児島純心高校出身
御書 風花: 飯野高校出身)



あそびの教室

人間発達学部附属子育て支援センター主催遊びの教室「絵皿に自由画を描いて遊ぼう」は2018年10月25日(木)に開催。4歳から小学3年生6名とその保護者に参加されました。本学から学生3名の協力と教員2名が参加しました。以前から参加者の希望もあり、保護者の皆様には、教員による「子どもの絵の話の講話」と広告紙と段ボールを使った絵皿の制作を手伝って頂き、子どもたちは自由画を描き、段ボールで制作した遊具で遊びました。親子の工作によるコミュニケーションの活性化の視点で継続開催したいと思います。

(古賀 隆一 教授)



子育てひろば「みなみん」

人間発達学部附属子育て支援センターの一環として月に2回、地域の親子が自由に参加できる子育てひろば「みなみん」を開催しています。本学部の保育者を目指す学生を中心に企画・運営をしています。毎回、多くの親子の参加があり、学生が親子とのかかわりを通して保育者に必要な知識や技術を身に付ける学びの場となっています。活動の様子を紹介したみなみんの公式Twitterもあります。[@79minamin] で検索してみてください。

(金子 幸 講師)



チャレンジ算数教室

小学校3年生から6年生を対象として、6月から4回にわたりチャレンジ算数教室を行いました。小学生と保護者合わせて440名ほどの方に参加していただきました。今年度は、中学年と高学年の2つのグループに分かれ、「西郷隆盛」という役割を中心として、物語を進めました。その物語の中で、数学的活動を取り入れ、数、図形および統計について楽しく学ぶことができました。チャレンジ算数教室を通して、大学生自身も算数の奥深さや指導の難しさに気付くことができ、技を学びました。ここで得た経験を教育実習に活かせるよう努めていきたいです。参加して下さいの皆様、本当にありがとうございました。

(趙 雪梅 准教授)



うたごえ広場

毎月、月末の金曜日に学内で「うたごえ広場」を開催しています。私は今回、フルートを演奏させていただきました。ギターに合わせて演奏することが初めての経験で、緊張しながらも楽しんで演奏することができました。また、今回一緒に演奏した方々や聴きに来てくださった地域の皆さまとは、このコンサートを通して出会うことができ、改めて音楽の楽しさや素晴らしさを感じることができました。これからも、周りの人との繋がりを大切にしていきたいです。

(3年 野田 真結子: 小林高校出身)



学校支援員

大学3年の4月より、週に2回業務支援員として中学校で活動しています。主に資料の印刷やデータ入力、掲示物の作成などを通して、先生方や生徒の学習サポートをおこなっています。先生方が日々、指導の見直しをしたり、教材作りに取り組んでいる姿を見て、教師の仕事の大変さややり甲斐を感じています。

(4年 松田 楓: 宮崎南高校出身)



土曜学習会

土曜学習会では、上長飯小学校と東小学校の3・4年生を対象に学習支援をしています。児童数は毎回30名程度です。勉強の好き嫌いや得意不得意に個人差がありますが、元教員だった方々と協力して勉強への取り組み方を工夫しながら活動しています。外で遊んだり、工作をしたり、楽しみながら勉強できるよう工夫して、児童が来週も来たいと思えるような環境を目指しています。

(3年 宇佐 季笑: 都城西高校出身)



新任紹介

鳴海 正也 先生

専門領域は特別支援教育です。今まで、小・中・特別支援学校で教鞭をとってまいりました。通常学級で困っておられるお子さんの支援を中心に色々な子どもたちの支援に取り組んでまいりました。

現在は、教育学を中心に本学学生のニーズに合わせてできるだけ教育現場の実践と最前線の研究を結びつけて教えられるように工夫していきたいと思っています。事例紹介に盛り上がり授業が最後までいかない時があるのが玉に瑕です。



主な著書

- 『小中学校特別支援コーディネーターのための実践-新指導要領』(共著)
- 『個別の指導計画の作成と活用』(共著)
- 『教科教育と特別支援教育のコラボレーション 授業研究会の新たな挑戦』(共著)
- 『親と教師のためのLD相談室』(共著)
- 『全国の特長ある30校の実践事例集』(編著)

